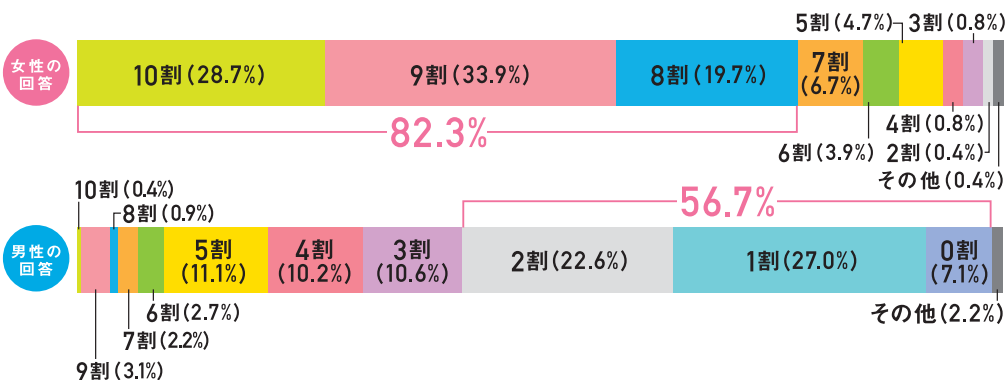


# 「家事シェア」してますか？

共働きの家庭が増え、今や家事は家族みんなで分担(シェア)して取り組む時代に。とはいえ、家庭によってライフスタイルはまちまちです。本誌では、札幌で暮らす私たちにとって“わが家らしい家事シェア”のスタイルを見つけるためのヒントを紹介していきます。まずは、札幌市の家事シェアの現状がどのようなものなのかを見てみましょう。

## Q. 家庭内での家事分担について、あなたの担当は何割ぐらいだと思いますか？



## A. 「女性が8割以上、男性が2割以下の分担」と答えた人が半数以上

8割以上の家事を女性がやっている」と答えた人が、女性82.3%、男性56.7%という結果に。家事の主戦力は女性である家庭が多いようです。男性が家事をする上でハードルと感じていることには、帰宅時間の遅さを挙げる人が半数以上。家にいられる時間が少ない人も、無理なく家事に参加できる仕組みづくりやコミュニケーションが、家事シェアには欠かせないといえるでしょう。

男性が家事をするにあたり制約に感じていることは？

**1位 「帰宅時間が遅くて時間がない」**  
—— 55.6% ——

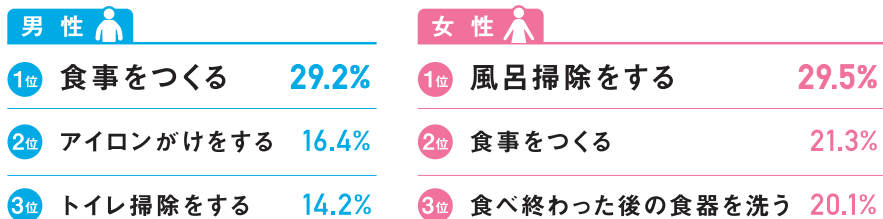
実は札幌市は全国的に見ても、長時間労働の男性が多いのです。25歳～39歳の男性雇用者(年間就業日数200日以上)のうち、1週間に60時間以上働いている人の割合は、全国平均13.3%のところ札幌市は17.3%。10人中2人は長時間労働ということに。

※総務省統計局「就業構造基本調査(H29)」による

### ちなみに…

コレを担当するとパートナーに喜ばれるかも？

### Q. あなたが「できればやりたくない」家事は？



※有効回答数480(2019年3/5～3/8、札幌市実施インターネットアンケート調査「女性活躍を推進するための家事参加について」より)